

【静岡県賀茂郡松崎町】

校務DX計画

賀茂地域 1 市 5 町で賀茂地域校務支援事務共同化協議会を設置し、1 市 5 町で統一の校務支援システムを導入している。

1 人 1 台端末導入後は、学習支援システムやデジタルドリル教材等を活用し、教育のデジタル化を進めている。また、情報配信サービスを導入し、学校と保護者間の連絡手段のデジタル化の環境を整備している。

こうした状況と「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」の自己点検結果を踏まえ、以下の 1～5 について、学校と連携しながら校務DXの推進に取り組む。

1. クラウドサービスの活用

(1) 現状と課題

本町では、校務や学習活動において「Google Workspace」のクラウドサービスを活用できる環境が整っており、教職員間の情報共有や連絡、保護者への調査・アンケート等でクラウドサービスの活用が進んでいるが、学校間において活用の差が見られる。

(2) 解決策

ICT支援員による支援体制を整備し、学校間のクラウドサービスの活用の差の解消を図るとともに、校務や学習活動においてクラウドサービスの活用を積極的に推進していく。

2. ペーパーレス化の促進

(1) 現状と課題

情報配信サービスを活用し、保護者への配布物をデジタル配信しているが、一部（半分未満）の配布物に留まっている。

(2) 解決策

保護者のニーズや学校の実情を踏まえながら、ペーパーレス化を推進する。

3. FAXでのやり取り・押印の見直し

(1) 現状と課題

「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」（文部科学省・令和 6 年 9 月実施）の自己点検結果（速報値）において、町内すべての学校で「日常の業務に FAXを使用している」「業務で押印を必要とする書類がある」と回答している。

(2) 解決策

「学校とのFAXでのやり取りの慣行・学校現場に関連する押印ルールの見直しについて」（文部科学省・令和 6 年 8 月）に基づき、FAX・押印の原則廃止に向け、学校と協議を進めていく。

4. 校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業の一掃

(1) 現状と課題

一部の学校において、校務支援システムへ新入学児童生徒の名簿情報を手入力作業で行っている。

(2) 解決策

令和7年度から新たな校務支援システムを導入する。これに合わせ、名簿情報の不必要な手入力作業の一掃に取り組む。

5. 校務系・学習系ネットワークの統合と次世代の校務支援システムの整備に向けた検討

現在、校務系ネットワークと学習系ネットワークが分離しており、校務系と学習系で端末を使い分けている。また、現行の校務支援システムはネットワーク分離によるオンプレミス型であり、職員室に固定された校務用端末からのアクセスを前提として運用している。

教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、ゼロトラストの考え方に基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、校務系・学習系ネットワークの統合に向けた検討を進めていく。校務支援システムについては、賀茂地域校務支援事務共同化協議会の決定に基づき、取り組みを行っていく。